

1. 教科で育成したい資質・能力

①生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てる

単に様々な活動を数多く体験するだけではなく、多様な観点から芸術に対して主体的にかかわっていくことを基本としていく

②感性を高め、能力を伸ばす

心の教育に関わっている教科という認識のもと、技術的な面の伸長を図るだけではなく、芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ、自ら表現し、創造的な能力を高める

③芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う

一定の材料・技術・方法・様式などによって美を追究・表現しようとする活動など、精神の働きによって作りだされた有形・無形の成果の総体に対する理解を深め、愛着をもち、それらを尊重する態度の育成を重視する

2. アクティブ・ラーニングの具体的取組

○個人制作で習得した技術を様々な場面で活かし、教科を横断して3科が合同の発表会を行う。

○協働制作として、分担を決め、音楽・美術・書道それぞれでグループを形成し、共通のテーマをもとに作品をつくる。

○対話的な学習から、自分の得意な分野や主体的に参加することで、自己肯定感を持ちながらも、1人では完成させられないような質の高い作品を目指す。

3. 今後の取組

< 3科合同発表会内容 >

○音楽科が音楽ソフト「ボーカロイド」で曲を作成する。

○美術がファイナルカット等を利用して動画を作成する。

○書道がテーマに沿った言葉を書道パフォーマンスする。

○3科のグループが集い、美術選択者が制作した動画に、音楽選択者が作成した音楽が重なり、その前で書道選択者がパフォーマンスをすることで、完成する驚きと喜びと感動を共有させ、芸術を通じた他者との対話について考えさせ、心の思い出を創造する。